

平成 29 年度「中小企業・小規模事業者決済情報管理支援事業」
ユーザー企業の生産性向上事例

2019年3月6日
NTTデータ経営研究所

1. 北海道モデルプロジェクト
2. 豊田・静岡モデルプロジェクト
3. ERPモデルプロジェクト
4. 岐阜モデルプロジェクト

- 中小企業共通EDIを活用した受発注から決済までの一連業務をEDI化することで業務改善を実現
- 特に複数の入金パターンが存在し煩雑であった入金消し込み業務は自動消し込み処理により大幅に生産性アップ

取り組み前（課題）

- 共通
 - ✓ 受発注企業ともに電話やFAXを使用した受発注業務を行っており、非常に手間が掛かっている
- 受注企業
 - ✓ 市販パッケージを使用して販売管理業務を行っているが、受発注情報が電子化されていないため都度データ入力が必要
 - ✓ 入金消し込みについては、入金に紐づいた請求情報が無いため、担当者が“あたり”をつけ突合作業を実施している。入金と売掛金に差異が発生した場合に多くの余計な工数が掛かっている。
- 発注企業
 - ✓ Excelを使用して購買管理業務を行っている
 - ✓ 振り込みに関して、受注企業発行の請求書内容と自社での購買情報の突合や、振込操作に時間を要している。

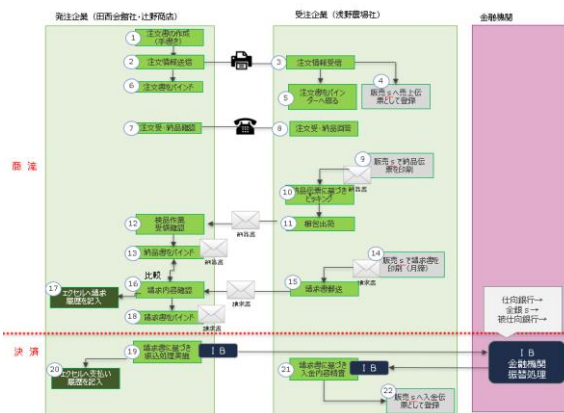
取り組み後（効果）

- 受注企業
 - ✓ 入金確認業務は入金内容の把握の迅速化と入金消込の自動化により、37%の生産性向上を実現
 - ✓ 受注から入金確認までの業務をIT化した結果、業務時間を16%削減
- 発注企業
 - ✓ 振込み前確認と操作性の向上により、振り込み業務が75%生産性が向上。
 - ✓ 自社システムとのデータ連携を実現した結果、業務時間を65%削減
- 共通
 - ✓ 企業間の合意でSCCCの向上も期待可

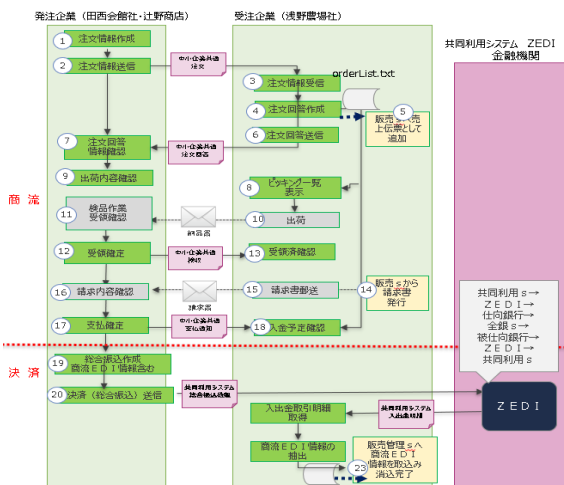
取り組み内容

取り組み前

【業務プロセス】



取り組み後



【実施内容】

- 受注企業
 - ✓ 社内システムとのデータ連携
 - ✓ 入金突合処理の自動化
- 発注企業
 - ✓ クラウドアプリを利用した仕入情報のデジタル化
 - ✓ IT活用の前進（エクセルから一歩先へ）
- 共通
 - ✓ 電話およびFAXでの企業間商取引をEDIに変更
 - ✓ 企業内の紙媒体情報のデジタル化
 - ✓ FBによるZEDI接続決済業務
 - ✓ 決済・商流情報連携基盤に対するヒアリング（メリット・課題）

【実証に基づくコスト試算】

※当システム構成での普及段階での試算

- 共通
 - ✓ 業務ヒアリング時間（2時間）
 - ✓ FB初期費用（30,000円）
 - ✓ FB使用料（20,000円/月）
 - 受注企業
 - ✓ 当クラウドアプリに対する現行管理システムへのデータ渡し設定作業費（50,000円）
 - ✓ クラウドアプリ利用料（3円/行）
 - 発注企業
 - ✓ クラウドアプリ利用料（3円/行）
- ※上記に加え、発注数に比例して増加

- 中小企業共通EDIを活用した受発注から決済までの一連業務をEDI化することで業務改善を実現
- ZEDI(全銀EDIシステム)連携による決済業務の効率化を実現

取り組み前（課題）

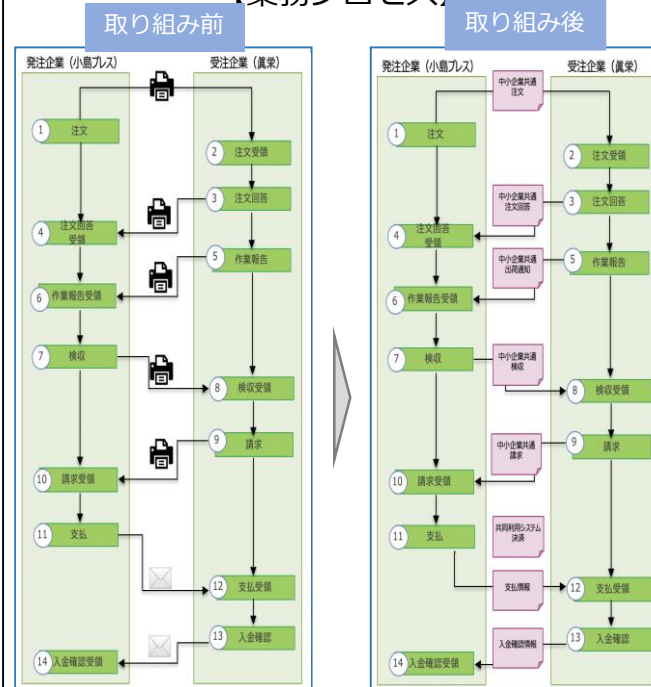
- 共通
 - ✓ 受発注企業ともに電話やFAXを使用した受発注業務を行っており、非常に手間が掛かっている
- 受注企業
 - ✓ 入金確認を通帳記帳により行なっており、余計な工数が掛かっている
- 発注企業
 - ✓ 入金後に内訳に関する問い合わせが多々発生し、余計な工数が掛かっている

取り組み後（効果）

- 共通
 - ✓ 商流～金流までが全てシステム内で完結しており、電話、FAX及び帳票のファイリングも不要となるので、業務効率が大幅に向上した
- 受注企業
 - ✓ 通帳記帳での確認作業が不要となり、入金消込も自動である為、業務効率が向上した
- 発注企業
 - ✓ 入金の内訳に関する情報が、受注企業で確認できる為、問い合わせ不要となった

取り組み内容

【業務プロセス】



【実施内容】

- 共通
 - ✓ 企業間で発生する文書（注文書、納品書、検収書、請求書、など）のデジタル化
 - ✓ ZEDI(全銀EDIシステム)連携による決済業務の効率化
- 受注企業
 - ✓ 入金確認及び売掛の消込を自動化
- 発注企業
 - ✓ 入金確認通知及び買掛の消込を自動化

【実証に基づくコスト試算】

- 共通
 - ✓ 業務ヒアリング時間（50時間）
- 受注企業
 - ✓ クラウドアプリ利用料（0万円／月）
 - ✓ FB使用料（6万円＋2.1万円／月）※
- 発注企業
 - ✓ クラウドアプリ利用料（0万円／月）
 - ✓ FB使用料（10万円＋1万円／月）※

※参考値：契約行により異なる。また振込手数料別途必要。

- E D I の活用により日々の売上・仕入金額を確定することで受発注から決済まで一気通貫の業務効率化を実現
- 中小企業共通 E D I サービスと自社の仕組みを接続し、ZEDI活用の支払・入金消込サービスを低コストで実現

取り組み前
(課題)

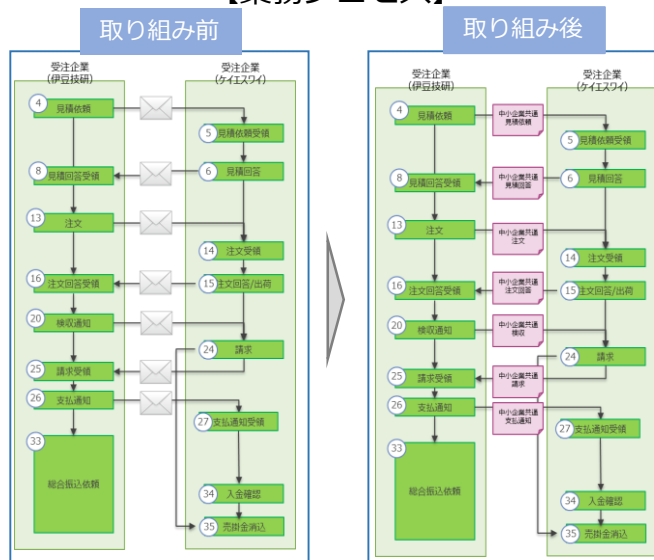
- 共通
 - ✓ 既に業務アプリを導入済みで運用も定着化しているため、EDI化によるアプリ改変が困難
- 受注企業
 - ✓ 売掛金明細の自動消込機能を各社が個別で実装するのは非効率
- 発注企業
 - ✓ 月締めでの請求確定では、違算が発生した場合、金額の相殺処理は翌月以降に

取り組み後
(効果)

- 共通
 - ✓ 各社の業務アプリはCSV入出力を備えているので、EDIのマッピング機能で差異を吸収。EDIは共通EDIフォーマットに変換しデータを送るだけ
- 受注企業
 - ✓ 業務アプリが消込結果を受け取れるよう、EDI基盤上で消込機能を提供
- 発注企業
 - ✓ 出荷検収データを活用し、日々の金額を確定

取り組み内容

【業務プロセス】



金融EDI活用で電子機器・電子部品のサプライチェーンをより効率的に！

【実施内容】

- 共通
 - ✓ 受発注から決済まで一気通貫のデータ連携を検証
 - ✓ 金融EDI情報の活用による決済業務の効率化を検証
- 受注企業
 - ✓ 金融EDI情報の活用で入金消込を自動化
- 発注企業
 - ✓ 出荷検収及び請求データの再利用で支払業務効率化

【実証に基づくコスト試算】

- 共通
 - ✓ 業務ヒアリング時間（50時間）
 - 受注企業
 - ✓ 共通EDI利用料（5万 + 3,000円／月～）
 - ✓ FB使用料（10万円 + 1万円／月）※
 - 発注企業
 - ✓ 共通EDI利用料（15万 + 3,000円／月～）
 - ✓ FB使用料（1万円 + 6千円／月）※
- ※参考値：契約行により異なる。また振込手数料別途必要。

- 中小企業共通EDIを活用した受発注から決済までの一連業務をEDI化することで業務改善
- 入金消し込み業務は、EDI情報と連携した自動消し込み処理により業務改善

取り組み前（課題）

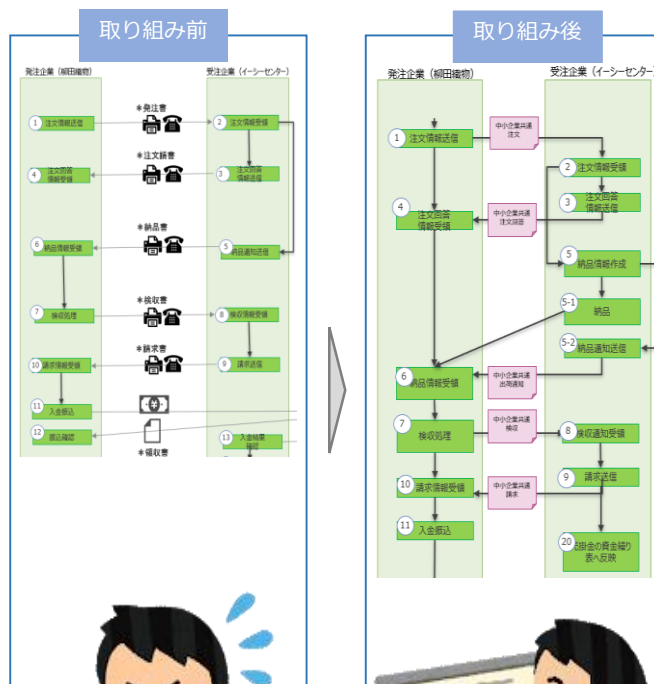
- 共通
 - ✓ 受発注企業ともに電話やメール、FAXを使用した受発注業務を行っており、非常に手間が掛かっている
- 受注企業
 - ✓ 受注、納品、請求などが電子化されていないため各々データ入力が必要
- 発注企業
 - ✓ 発注、仕入、支払などにクラウドERPを利用しているが、一部でデータ入力が必要

取り組み後（効果）

- 受注企業
 - ✓ 商流における他システムへのデータ入力がなくなり、86%の業務時間を削減
 - ✓ 入金予定のデータ入力や、入金消込の自動化により決済業務の70%の業務時間を削減
- 発注企業
 - ✓ 商流における他システムへのデータ入力がなくなり、78%の業務時間を削減

取り組み内容

【業務プロセス】



【実施内容】

無料でEDIができるFreeWorksを発行することを前提

- 受注企業
 - ✓ 商流をEDIにてデータ連携
 - ✓ 入金突合処理の自動化
- 発注企業
 - ✓ 商流をEDIにてデータ連携
- 共通
 - ✓ 企業間で発生する文書（注文書、納品書、検収書、請求書、など）の電子データ化
 - ✓ クラウドアプリ/EDIの使用方法に関する研修

【実証に基づくコスト試算】

- 共通
 - ✓ 業務ヒアリング時間（3時間）
- 受注企業
 - ✓ クラウドアプリ利用料（18,000円/月）
※SmileWorksクラウドStandard（税別）
- 発注企業
 - ✓ クラウドアプリ利用料（18,000円/月）
※SmileWorksクラウドStandard（税別）

発注企業：株式会社デリカサイト

企業規模：中小企業 業種：料理品小売業
事業内容：HMR/惣菜/寿司/米飯等の調理/小売販売

受注企業1：株式会社飼沼

企業規模：中小企業 業種：卸売業
事業内容：コンテナ/業務用パレット/バック等卸売

受注企業2：株式会社烏骨鶏本舗

企業規模：中小企業 業種：小売業
事業内容：烏骨鶏を主原料としたお菓子及び食品の販売

- FAXによる受発注からWeb-EDIへ変更、情報のデータ化で業務改善を実現
- ZEDI連携で、入金自動消込が可能となり、作業効率が大幅にUP！

取り組み前（課題）

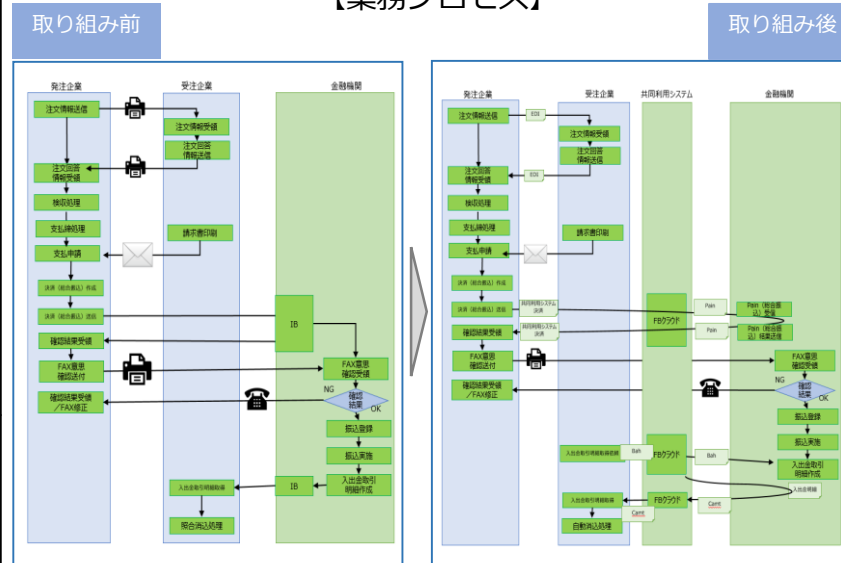
- 共通
 - ✓ 取引の90%がFAX送信により書類ベースの処理となっている。
- 受注企業
 - ✓ 月次処理の際、取引の明細伝票と入金金額の照合と売掛金消込に手間がかかる。
- 発注企業
 - ✓ 約60店舗の発注は本社でまとめているため本社の業務負担が高い。
 - ✓ EDIシステムがあるが、取引先への導入が進まない。

取り組み後（効果）

- 共通
 - ✓ 書類からデータ管理になったことで約48%の作業時間が削減された。
- 受注企業
 - ✓ 自社の販売管理システムとデータを連携させることで決済業務に係る時間が約41%削減がされた。
- 発注企業
 - ✓ タブレットでの発注により発注・検品の工程で約45%時間数削減、振込前の明細突合作業が無くなり決済作業は約84%時間数の削減ができた。

取り組み内容

【業務プロセス】



【実施内容】

- 受注企業
 - ✓ クラウドアプリ「惣菜EX」を使用して受注、入金確認後は自動消込処理を実施。
- 発注企業
 - ✓ 実証検証店舗10店舗と本社からタブレットを使用して受注企業への発注を実施した。月次処理もアプリ上で実施、銀行振込を行う。
- 共通
 - ✓ FAXによる受発注から、クラウドアプリ「惣菜EX」を利用した受発注へ変更。

【実証に基づくコスト試算】

- 共通
 - ✓ 業務ヒアリング時間：25時間程度（週2時間×3ヶ月）
- 受注企業
 - ✓ 惣菜EXアプリ月額3,000円
 - ✓ 銀行利用料月額数千円（参考）
- 発注企業
 - ✓ 惣菜EXアプリ月額3,000円
 - ✓ 銀行利用料月額数千円（参考）

END
